対局シリーズ

操作説明書

本手がわかる!

囲碁ソフト

JIS 日本囲碁ソフト

目　次

環　　境 …… 1
起動方法 …… 2
終了方法 …… 2
キーボードの操作方法 …… 3
マウスの操作方法 …… 3
プログラムの全体図 …… 4
画面別の内容説明と操作方法
　［A］メニュー、対局メニュー …… 4
　［B］対局モード …… 5
　［C］研究モード …… 6
　［D］棋譜再生 …… 6
　［E］プロの定石 …… 6
　［F］プロの布石 …… 6
　［G］機能選択 …… 7
９８ＮＯＴＥでの使用方法 …… 7
ハードディスクでの使用方法 …… 8
外付ドライブを使っての実行方法 …… 9
保守サービス …… １０

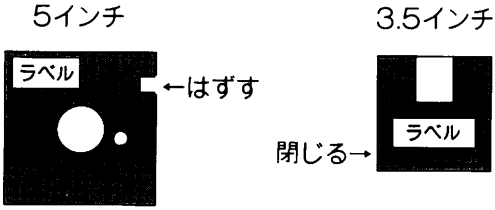
■ 環　　境

ＰＣ-９８００シリーズ	●６４０Ｋバイトのメモリーが必要です。 ●マウスが使えます。

■ 起動方法

このソフトはＡ、Ｂ、Ｃ、３枚のディスクが必要です。
プログラムＡはプログラムディスクで、プロテクトがかかっています。
プログラムＢとＣはデータディスクで、コピーしても使えます。

１．ディスク３枚すべてを書き込み可能にします。



２．コンピュータの電源を入れます。

３．ドライブ１にプログラムＡを、ドライブ２にプログラムＢのディスクをそれぞれ挿入して、リセットボタンを押します。

４．プログラムが自動的に作動し、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

５．対局モードを選択した後に、画面の指示に従ってプログラムＡとプログラムＣを入れ換えます。

《注意》　ゲーム中は、指示がない限り絶対に
ディスクを取り出さないでください。

■ 終了方法

１．メニュー画面で 終　了 を選びます。

２．ドライブにセットされているプログラムディスクをすべて取り出します。

３．コンピュータの電源を切ります。

■ キーボードの操作方法

↑ ↓ ← →	カーソル（表示□印）を上下左右に移動させます。
⏎	項目を実行します。（改行キーという）
f・1	メイン・メニューまたは前画面に戻ります。
f・6	棋譜鑑賞で再現を自動（手動）にします。
GRPH	対局中、処理選択のウインドウを開けます。
ESC	呼び出された処理を取り消します。
ROLL UP または ROLL DOWN	研究モードで、読み筋を表示します。（ROLLキーという）

■ マウスの操作方法

1．「機能選択」でマウスを 使用する を選択します。

2．ダブルクリック形式の使用法です。

選 択	選択する場所へマウスカーソルを移動し、左右いずれかのボタンを１回押します。
実 行	同じ場所でもう１回ボタンを押します。
変 更	実行前にマウスカーソルを別の場所へ移動し、選択します。

※シングルクリックの場合は、選択と実行が同時（１回）となります。

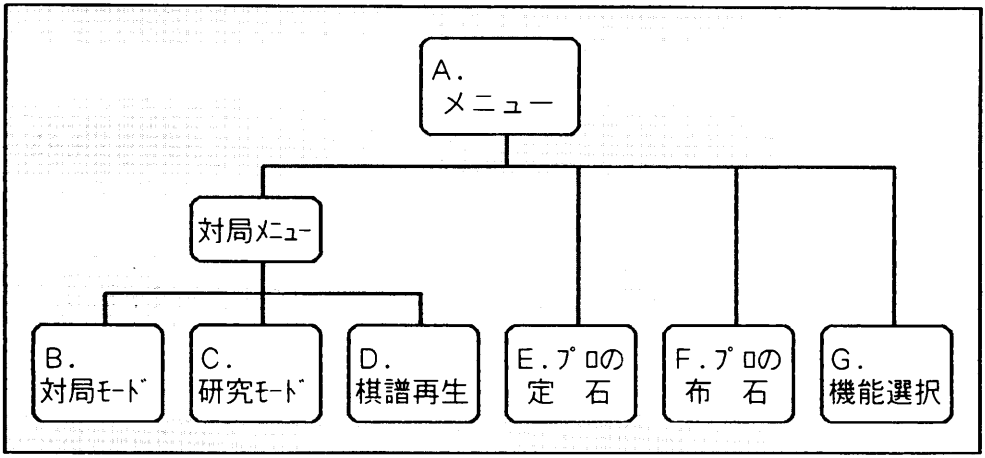
3．使い方

メニュー …… 選択したい項目へマウスカーソルを移動し、ボタンを２回押します。

石を打つ …… 石を打ちたい場所へマウスカーソルを移動し、ボタンを２回押します。

前画面に戻る ・・・・・・ f・1 、GRPH などが表示されている場所へ
ウインドウを開く　　マウスカーソルを移動し、ボタンを２回押します。
※シングルクリックの場合は、ボタンを１回押します。

■ プログラムの全体図



※『E.プロの定石』、『F.プロの布石』は商品ごとに異なります。

■ 画面別の内容説明と操作方法

[A] メニュー、対局メニュー

実行したいプログラムを選びます。

《操作》
上下にカーソルを動かして項目を選択し、改行キーを押します。

［B］対局モード

コンピュータを相手に自由に対局し、棋譜が記録できます。
また、対局中の形勢の優劣がグラフィック表示で見れます。

《操作》

１．対局の開始

互先の白番で対局を行います。
碁盤上は、コンピュータが５手目の黒石を打ったところです。
６手目を打つところから対局が開始します。

２．対局の進め方

キーボードでカーソルを上下左右に移動させ、石を打ちたい位置で改行キーを押します。
コンピュータが「検索中」のメッセージを出して、次の手を探します。見つかれば石が打たれます。

◆検索中の画面左下に表示する「ｵｵﾊﾞ」「ｺｳﾃﾝ」「ｼﾞｮｳｾｷ」等の文字や数字は、コンピュータ処理中の状況をモニターしています。（一般の囲碁用語と同一ではありません。）

３．勝敗の判定

厳密な勝敗判定は行いません。
GRPH キーを押してウインドウを開き 形勢表示 を選びます。
黒白の勢力状況がマークとグラフで表示されます。

４．終局のしかた

ウインドウを開き 終　局 を選びます。
（棋譜を記録して）メニュー画面に戻ります。

５．棋譜の記録

終局時に棋譜の記録ができます。
ウインドウを開き 棋譜の記録 を選びます。
※棋譜は１０件まで記録できます。
※再現モニターは『Ｄ.棋譜再生』で出来ますが、別売のソフト『棋譜の研究』でも利用できます。
プログラムＢディスクのディレクトリー ¥SDAT に書き込まれます。

６．終局のタイミング

いつ終局しても構いませんが、特にコンピュータが「パス」した場合は、終局されることをおすすめします。

［C］研究モード

『B.対局モード』に「変化図の表示」と「読み筋の表示」が加わっています。読み筋の練習もその場でできます。
碁盤上の△印が次の手に対する変化図で、大、中、小の３ランクがあります。よく打たれる場所ほど大きくなります。

《操作》

開始から終局までの方法は、『B.対局モード』と同じです。

１．読み筋の表示

カーソルを△印の位置に移動して、ROLLキーを押します。
画面に読み筋が表示されます。
△印の位置に関係なく、石を打つと次の手に進みます。

２．読み筋の練習

読み筋表示画面で［練 習］を選びます。
◆練習方法は、１手づつの手順を番号順に打っていきます。

［D］棋譜再生

『B.対局モード』や『C.研究モード』で打たれ記録した棋譜を総譜で表示し、また１手づつ再生します。

《操作》

１．はじめに総譜が表示されています。
次の棋譜をみたい場合は、カーソルを［次の棋譜］に移動して改行キーを押します。

２．１手づつ再生するには、カーソルを［手順を見る］に移動して改行キーを押します。

３．新しい碁盤が表示されます。
改行キーを押すと１手づつ石が打たれます。

［E］プロの定石、［F］プロの布石

代表的な定石と布石の総譜を鑑賞できます。

《操作》

『D.棋譜再生』と同じです。

［Ｇ］機能選択

以下の各項目にあわせて設定します。
一度設定された情報は、プログラムＡディスクに記録されます。以降はこの設定が優先されます。

● マウス選択

マウスを使用する、しないを次の３つから選べます。
（１）ダブルクリックで使用する
（２）シングルクリックで使用する
（３）使用しない
※出荷時設定：使用しない

《操作》
上下にカーソルを動かして項目を選択し、改行キーを押します。
マウスの使い方は、『マウスの操作方法』の項を参照してください。

● 画面の選択

ラップトップやノート型パソコンの場合、碁石の白黒が逆になったりカーソルが見づらい場合があります。その時に選択します。
※出荷時設定：カラー対応

《操作》
上下にカーソルを動かして項目を選択し、改行キーを押します。

■ ９８ＮＯＴＥでの使用方法

● 準　備

［HELP］キーを押しながら、リセットボタンを押して９８ＮＯＴＥメニュー画面を出します。

１．モード設定画面で、プログラムＢをＲＡＭドライブにコピーします。
［ＦＤ→ＲＡＭドライブのコピー］を選びます。

２．システム起動装置の指定を［標準］、［ＦＤ］にします。

● 実　行

プログラムＡをフロッピードライブにセットして、リセットボタンを押します。

■ ハードディスクでの使用方法

このソフトはディスクアクセスを頻繁に行います。
プログラムをハードディスクにコピーし利用する事によって、動作速度が２倍以上速くなります。

● 領域の確保

ハードディスクの領域としては、１０ＭＢの容量が必要です。
あまり大きな領域を確保したドライブ（１２９ＭＢ以上）では、１０ＭＢの残り容量があっても不足することがあります。
（　ＦＯＲＭＡＴ／Ｈ コマンドの領域確保　）

● コピーの方法（その１：付属ソフト『ＵＴ．ＥＸＥ』を使う）

１．ＭＳ-ＤＯＳをハードディスクで起動します。
２．プログラムＡをいずれかのフロッピードライブにセットします。
３．セットしたドライブをカレントドライブにします。
　　そのドライブがＣドライブの場合、
　　キーボードで [Ｃ] [：] [⏎] とタイプします。
４．付属ソフト『ＵＴ．ＥＸＥ』を起動します。
　　キーボードで [Ｕ] [Ｔ] [⏎] とタイプします。
５．プログラムが起動したら、
　　[フロッピーディスクからハードディスクへのコピー] を選び、指示に従います。
　　指定されたドライブとディレクトリーにコピーが行なわれます。
　　※ディスク３枚のコピーに要する時間は約５０分です。

● コピーの方法（その２：ＭＳ-ＤＯＳの XCOPY コマンドを使う）

１．ＭＳ-ＤＯＳをハードディスクで起動します。
２．任意のコピー先のパス名に XCOPY を行います。

プログラムディスクがドライブＣ：、コピー先のパス名がB:¥IGO の場合、

A>XCOPY C:¥ B:¥IGO /S とします。

※パラメーター /S を忘れないでください。

3．付属ソフト『ＵＴ．ＥＸＥ』を起動します。
（コピーの方法１を参照）

4．プログラムが起動したら、
起動用バッチファイルの作成とデータドライブ指定 を選び、指示に従います。
※ディスク３枚のコピーに要する時間は約３０分です。

● 実行方法

1．リセットボタンを押します。

2．バッチファイル（SAN.BAT）を起動します。
キーボードで S A N ⏎ とタイプします。

《注意》 日本語ＦＥＰやその他のディバイスドライバーが常駐している場合は、メインメモリーが不足することがあります。

■ 外付ドライブを使っての実行方法

外付ドライブをプログラムＣ用に使うことで、フロッピーディスクの入れ換えを行わずに対局ができます。

＜準備＞外付ドライブのメディアに合わせて、プログラムＣをＤＩＳＫＣＯＰＹします。

1．プログラム起動後、メニュー画面から 機能選択－ドライブの指定 を選びます。

2．プログラムＣを外付ドライブにセットし、 プログラムＣの変更 を選びます。

ウインドウが開き、ドライブ名が表示されます。

[A:], [B:], [C:]. .

カーソルを上下に移動して外付のドライブを選択し、改行キーを押します。

3．ドライブ名の表示が消え、ウインドウ内２行目に選ばれたドライブ名が表示されます。
表示のドライブ名でよければカーソルを 上記で指定 に移動して、改行キーを押します。

※　プログラムＢも外付ドライブで使えます。
「ドライブ指定」で、 プログラムＢの変更 を行ってください。

■ 保守サービス

プログラムには、プロテクトがかかっています。
万一、不慮の事故でプログラムに以上が発生した場合には、保守・交換サービスをご利用ください。（手数料が要ります）

《ご注意》

- このプログラム及びマニュアルは著作権法上、日本囲碁ソフトに無断で複写、賃貸、その他営業目的に使用することはできません。
- 品質には万全を期していますが、万一製造上の原因による品質不良がありました場合は、新しい製品とお取り替えいたします。
それ以外の責については、ご容赦ください。
- 製品上の仕様については予告なしに変更することがあります。

《ご意見・ご質問》

- 当社では常に製品の品質向上に努めております。製品に関しまして、ご意見、ご質問がございましたら当社迄書面にてお寄せください。

［販　売］　日本囲碁ソフト
大阪府吹田市千里山西　６－６２－Ａ－９０６
〒５６５　ＴＥＬ（０６）３３８－７７４８

［開　発］　マイティ　マイコン　システム